

昭和 52 年 3 月 1 日 (火)

入小屋<4年17期 山下暁→3/3/3年18期 壺井久雄→3/4>

昭和 52 年 3 月 2 日 (水)

入小屋<3年18期 鈴木栄(元)→3/7・上野(元)→3/6>

昭和 52 年 3 月 3 日 (木)

出小屋<4年17期 山下暁>

昭和 52 年 3 月 4 日 (金)

出小屋<3年18期 壺井久雄>

昭和 52 年 3 月 6 日 (日)

出小屋<3年18期 上野(元)>

昭和 52 年 3 月 7 日 (月)

入小屋<OB16期 池谷→3/10/3年18期 山口→3/12>

出小屋<3年18期 鈴木栄(元)>

昭和 52 年 3 月 9 日 (水)

入小屋<3年18期 大橋(元)→3/14>

昭和 52 年 3 月 10 日(木)

入小屋<4年17期 松本→3/15/2年19期 磯尾→3/25・井上→3/20・和田→3/17・熊沢→3/17・中島→3/20・弓削→3/18/1年20期 加賀→3/17・石垣→3/17・下村→3/15>

出小屋<OB16期池谷>

昭和 52 年 3 月 11 日(金)

入小屋<2年19期 中村・笛木→3/17/1年20期 作山・古橋・横山→3/18・田元→3/25・水田→3/16・武藤→3/20・太田→3/15>

昭和 52 年 3 月 12 日(土)

入小屋<2年19期 海野→3/17・白川→3/19/1年20期・遠田→3/18・清水→3/17>

出小屋<3年18期 山口>

昭和 52 年 3 月 14 日(月)

入小屋<OB16期 植松→3/21/1年20期 青山→3/21・田中→3/18・臼井→3/18・西田→3/20・玉木→3/19・増田→3/17・窪添→3/18・織内→3/20>

下山<3年18期 大橋(元)>

昭和 52 年 3 月 15 日(火)

入小屋<2年19期 南→3/20・富田→3/20・石井→3/17>

下山<OB17期 松本/2年19期 中村・笛木/1年20期 下村・太田>

昭和 52 年 3 月 16 日(水)

下山<1年20期水田>

昭和 52 年 3 月 17 日(木)

下山<2年19期 和田・熊沢・海野・中村・笛木/1年20期 加賀・石垣・増田・清水>

昭和 52 年 3 月 18 日(金)

下山<2年19期 弓削・石井/1年20期 作山・古橋・横山・遠田・窪添・田中・臼井>

昭和 52 年 3 月 19 日 (土)

下山<2年19期 白川/1年20期 玉木 >

昭和 52 年 3 月 20 日(日)

入小屋<3年18期 山口/山本 (外)>

下山<2年19期 井上・中島・南・富田/1年20期 田元・武藤・西田・織内>

5:55 p.m.

入小屋者リスト

3月10日 朝 磯尾、井上、石垣、下村、松本 (OB)
昼 中島、弓削、和田、熊沢

3月11日 中村、笛木、作山、水田、田本、古橋、
横山、武藤、太田

3月12日 海野、白川、遠田、清水

3月13日

3月14日 朝 植松 (OB)、青山、西田、玉木、
田中、増田、臼井

昼 窪添、織内

3月15日 昼 石井、南、富田
3月20日 夕 山口、山本 (部外)

出小屋者

3月10日 池谷
3月12日 山口
14日 大橋 (元部員)
15日 松本、太田、下村
16日 水田
17日 中村、笛木、加賀、石垣、増田、清水、
海野、和田、熊沢
18日 石井、弓削、古橋、作山、臼井、田中、
遠田、窪添、横山
19日 白川、玉木
20日 南、富田、井上、中島、織内、田本、
西田、武藤

今 居る人

植松、山口、磯尾、青山、山本の5人。

(3月山小屋入出表 …省略)

女子の山小屋滞在ベスト3

第1位 田本敦子
第2位 弓削厚子
第3位 和田邦子

半月も風呂に入らなかった人

磯尾典男

11日間もパンツを替えなかった人

中島輝夫

1回脱いだパンツを又はいいた人

井上晃

以上の3人は、合宿のため大変苦労した人達でした。

今回の疾病者

○締切間際のレポートの為 過労で発熱した人

発熱 38.7度 織内 ヌ

○過労のため、低脈拍になり、スキーに行けなかった
にも拘わらず しっかりと打上に参加した人

脈拍数 54/分 清水 ヌ

○スキーでの雪盲を酒で治した人

田本 ヌ

○エッチで頭を切って、顔面血だらけになった けど、
病院にも行かず、ガッツでスキーをしていた人

武藤 ヌ

以上 企画構成 植松サン、監修 磯尾主将。

8:20pm

昨日(19日)赤倉山に行って来た。小屋を6:30に出
て10:30には山頂に到着。12:30には再び小屋の人
となっていました。コースタイムとして

小屋→3:10→赤倉山→1:30→小屋

ガスのため、山頂からは何も見えず。わずかに妙高

山が見えたに過ぎなかった。アンラッキー!

サントリーホワイト ダブルサイズを5人で飲む。そ
の前にカティーサークの若干を飲む。

大学院生になっても、小屋に来られるのは、先生の目
をかすめているからです。

さてさて、明後日の22日は私の誕生日であります。
S28年生まれなので、24歳なのです。現在の1年生
とは5年も離れている。

9:35 p.m.

女なし、残念! ホワイトダブルサイズ 半分空く。

語らう女性なし 残念。

スキー板、185cm K2を買う予定。

ビンディングはM4 (購入済み)

山が命か

いつまで山に登れるのかな

11:00p.m.

5月の事故以来、早や1年になろうとしている。徳繁
のあの目を僕は忘れはしない。お前の分も必ず生きる。
お前の出来なかった事をも

11:40p.m.

ダブルサイズ 4/5 空く

ワングル女性論

ワングル論

OB16th 植松

昭和52年3月21日(月)

下山<OB15期 牛窪>

雪です。で、笹ヶ峰へ行くのは止めて帰ることにしま
す。

OB15期 牛窪 Sho Ushikubo

(朝)

今日は、ワックスは TOKO の橙、他のワックスが無
いので使ったところ、朝の内はまあまあ! しかし、日
が出てからは、全然だめ。新雪がスキーに付いて、面
白くない。第四は強風のため stop。少しの間、動いて
いる内に3、4回?登ったが、未熟のためエッチを外
し、切り替えにかかる時、新雪の吹き溜まりへ入ると、
マーカーが外れたり、山側のスキーが引かかる。エ
ッチを入れるとき、どこか強引な力が加わっているら
しい。前日までの好い調子が、全然狂ってしまった。
第四グレンデが強風のため、氷の露出しているところ
と、窪んだ所に新雪がかなり深いことと、マーカーの
圧調整がまずく外れ易かった事のせいにして、早々に
引き上げた。前日26回、今日12回で、合わせて38
回、まあ、2日券の元はとれた。

(昼)

みんなが帰る時、もっと仕事を片付けて貰えば良かつ

た。やたらと忙しい。乾燥室、食器、武器、なべ、鍋、流しと、掃除が続く。1人だとさすがにくたばる。一応片付いたのは18時位か。昼、13時からだから、全く許せない。中でも水汲みが一番かったるい。そんな訳で、遂にピッケルは、チョット掘ってめげた。それから、夏の為に、屋根の上に登って、一応φ5mmの捨て縄と、それにプルージックで5mくらいのシュリンケを付けた。屋根を塗装するとき、役立つだろう。それから、一言不満を言わせて貰うと、前に入った人らしいが、瀬戸物の食器と鍋と飯盒を使い放しだった。しかも、油の汚れだったので、大変苦労した。自分で使った物は、自分で潔いにしてほしい。

(夜)

1人で寂しく、餅とパンを食いながら、パッキング、明日の朝は赤倉スキー場へ向かう積もりだ。予定より1日早く小屋を出ることになった。アルコールも無く、夜は暇つぶしに、青山に教わった恋占いでも、ワングルの女の子全員をやるーかなと思っていたが、忙しくてその必要も無いようだ。今、やっとパッキング終了?21:13。僕のザイルがどうしても見つからない。南達が持って帰ってくれたのだと良いんだが。お茶を飲み過ぎたせいか、小キジが出たがっているので失礼一。戸を開けると真っ暗、星一つ無い。霧雨が降っている。怖いかなーと最初の頃は思っていたが、目が慣れてくると、何とも思わなくなる。実は何回も行ったので慣れてしまったのだ。

今回も又、14、5日、小屋に居た事になったが、忙しい毎日だったので、ノートも余り書くヒマが無かったので、多少長く書こうかな。下宿生活してから、1人の時間は多かったが、周りに全く人が居ないのは又、雰囲気が違う。徳繁の写真だけが視覚的に、人らしく見えて、時折風が雨戸をガタンガタンと揺らす。隅の方で、ガサガサするのはネズミかな。多少大きすぎるが、下宿より経費もかからないし、好い住みかだ。ランプの灯の下で、一人夜を過ごしていると、山小屋の番人になったようだ。今日も一日えらく疲れたなあ。明日はどんな客が、何処の山の便りを運んで来るのだろう。明日は赤倉や妙高は顔を見せるかな。・・・なんて想いながら、煙草は飲めないの酒を飲みながら、コタツの入っていたらいい気分なのに残念。サンアントンの親父のどこへ、飲みにいこかな、ホンの冗談。

今回の合宿は、植松さんに言われて通り、俺だけ先回りしていたような気がする。しかし、今俺は、我々と、その下の代の一年間のブランクによる技術低下の、埋め合わせをする為、全員を引っ張っていかなくてはならない。山へ行く以上は、方針や理論、目的と両立させなくてはならない。しかも全体のレベルを。昨日も牛窪さんと話したが、何故、何か目的を持たなくてはならないのか。もう一度確認しなくてはならない。僕自身も、クラブ員全員も。僕の想うワングル像は、

技術的に山岳部以下で、山歩会以上で、山の好きな人々の集まりでない。技術的には同じく山行するのだから、特殊な行為は除いて、場合によっては山岳部に勝くらいで良いと思う。しかし、同じく、僕は山が好きだが、山岳部とは異なった、山への接し方、入り方をしてみたい。現在、YWVで僕のやろうとしている事は、山岳部と違った山(失礼、自然)への想いを春合宿で見つけて、夏 実行することで、模索しながらの一年間になるだろう。夏、この小屋で又、このノートを開いた時、納得のいく自分でありたい。また、自分の示したパターンを20期には利用してもらいたく思う。僕らは、向井さんらの示した活動を、形の上では砕いてしまったが、僕は、その個々の斑の示した活動が活かされると思っているし、クラブ活動とは、向井さんもよく言うように、同じ目的の為に集まってきた者達が行うものなのだから、合宿中心にした事は、今も正しいと思っている。僕が思うに、みんな、クラブの活動(=合宿)と、個々の活動の、心の切り替えをするべきだ。全員での活動を認めず、ただ、みんなと居るだけの、バカ騒ぎの場を得たいヤツらは辞めればいい。そんなつまらない事より、せっかく大学生活の大部分を費やす、ワングル活動を、自分のやりたい事にしてしまいたい。

22:50 とても眠くなった。

今回、笹ヶ峰にスキーツアーの偵察に行った時、中島はスケッチ、井上は俳句、僕は詩なんか作って、ゆったりとした。本番では2回とも、1年諸君の雪合戦に巻き込まれた。合宿での全体での行動と、少人数の利点を考えさせられたが、偵察の時は、中島が進んでスケッチしだったので、井上も僕も、自分の中で感じていたことを書き留めたのだから、そう失望ばかりしているものでもない。ムムねむい。

雪原

暁にのぼるのは
雪煙か噴煙か
今、寝そべっている
このスキーのずっと下には
牛達の遊ぶ牧場が眠っている
この雪原のどこかに
イディルな世界が
僕をまっている
閉じたまぶたには
赤く陽の暖かさ
さわやかな風の歌が
時折
僕目を青空に向ける
まばゆいばかりの陽の光

3/11 12時 2年19th 磯尾

昭和 52 年 3 月 24 日(木)

下山<2年 19 期 磯尾>

4:13 起床。強風で雨だった。赤倉スキー場行きは取り止めにする。まあ、雨が止んだら帰ろう。

8:21 未だ雨だ。今日も泊まるのかな。

9:12 雨が弱まってきた。

ここに居ても、スキー出来ないし、つまらないので、一応パッキングして帰り支度を始める。

伝言

後から来る人へ

ピッケルが、造林小屋の雪下ろしの時、南面で雪に埋まってしまいました。主将用のピッケルなので、雪が溶けて、見つかったら、小屋に保管して置いて下さい。

よろしくお願いします。

9:30 さようなら。

2年 19th 磯尾

昭和 52 年 3 月 31 日(木)

入小屋<4年 18 期 大橋(元)、教え子 (男)>

昭和 52 年 4 月 1 日(金)

下山<4年 18 期 大橋(元)、教え子 (男)>

こんにちは。

大橋 (元 18)、教え子 (男) 3/31⇒4/1

厳しい、家庭教師先の要求に負けユーゾーと同様 2 度、春休みに使わせて頂きました。教え子は、この春スキーは初めてで、ここに来て、麓は桜前線が関東を覆ったにも拘わらず、豊島は雪に大歓びでした。今日は教え子の、猛烈なスキーの向上心によって、朝っぱらから 8 時間、教えっぱなし、リフトが止まってやっと、スキーから解放されたと思ったら、今度は小屋の裏で雪合戦ダト！いやはや、全国数千万の父親の方の家庭サービスとはこんなものでしょうか。

山小屋周辺も、2 週間余りでこれ程変わるものかと驚きました。雪はもうベシベシで、もう雪解け体制に入っていますし、今まででは見られなかった虫も出て来ています。しかし、何と言っても春を感じさせてくれたのは、綺麗な鳥が小屋の周りで遊んでいたこと、そして、雪解けの流れの音でした。この無秩序と混沌と、この瞳を閉じれば、マージャンパイと談笑の音が、響き渡った小屋にも春は公平にやってきたのですね。

しかし、実に素晴らしい小屋ですね。教え子は 1 日中遊び回った疲れからか、それとも初めてのスキーの興奮からか、少々赤い顔を蝋燭の灯に照らし出しています。二人きりの小屋の生活は、少々沈滞気味ですが、彼もあまり文句を言いません。私も今驚いています。

今まで小屋に来た中で、いや、他の山小屋を使った中でも、これ程人間の臭いを感じたのは、今回くらいではないでしょうか。整然と並べられた器もきれいに掃除された部屋も、畳まれた寝具も、何か綺麗にしたものの感じが伝わってきます。

3年 18th 大橋(元)

昭和 52 年 4 月 30 日(土)

入小屋<OB17 期 山下、友 5 人>

17 期卒業記念搬入：石油火鉢・ガスコンロ

p.m. 11:45

天気予報の通り、今夜から天気は崩れ、今は雨だ。今日、火打に登っておいて本当に良かった。こんな天気は、この連休中には恐らくもう無いだろう。皆真っ赤に雪焼けして、もうぐっすり寝ている。どうもお疲れさまでした。特に、初心者二人にとっては、5 月の火打登山はちょっときつかったかな？先週の富士山といい、今日の火打といい、とても天候に恵まれて、充実した春山を味わえたのは良いが、いつもこんな具合には行かない。昨年まで 5 月の連休は日光、足尾方面へ行っていたのだが、3 回とも雨ばかりで、いつも途中で諦めて下山していたのに…。

今日のコースタイム

小屋 7:30⇒7:50 京大ヒュッテ 8:15⇒11:15 高谷池
12:30⇒13:30 火打山 14:00⇒17:00 京大ヒュッテ⇒
17:30 小屋

雪は全体的によく締まっていて歩きやすく、アイゼン、ピッケルの必要 全く無し。スパッツはあったほうが良いが、特に使用はしなかった。

火打に登って小屋に帰ってきたら、鈴木道夫さんが来ていて、早速駆けつけ何杯とかで、あつという間に酒が無くなってしまった。仕方無しに赤い顔して杉野沢迄酒を仕入れに行く。今夜はこれで加藤研究室に所属している者 7 人で貸し切りの状態、まるで研究室所有の小屋みたいだ。今日火打に登って高谷池に着いたら、元ワングルの鈴木栄にバツタリ、赤倉、三田原を越えて火打、焼、天狗原を縦走するそうだが、この雨ではとても無理だろう。早く無事に小屋に帰ってくれば良いが…。道夫さんも明日、妙高か火打に登るとのことだが、明日もおそらく雨でしょう。

今回小屋に来たのは、私の代の卒業記念のプレゼントである石油火鉢とガスコンロを持って来る為で、この目的も果たしたので、明日午前中には小屋を立ちます。現役の皆さん、石油火鉢を冬には充分活用して暖かい生活を送ってください。それから 3 月の造林小屋の雪下ろしの時無くした主将用ピッケル、岡田サン宅にありますので、現役の人が来たときには持って帰って下

さい。

OB17th 山下

昭和 52 年 5 月 2 日(月)

下山<OB17 期 山下・友 5 人/ OB14 期 鈴木>

A.M.10 : 00

掃除、食器洗いをして帰ります。外は雨が降ったり止んだり。この雨で雪が大分溶けるみたいです。さようなら。6 月に又来る予定デス。(OB17th 山下)

小屋の備品でないもの、大分傷んでいる物

- ・プロパンガス (右と真ん中は空です)
- ・水汲用のひしゃく
- ・ブタンガスランプのガラスのほや 以上

OB17th 山下

今、安工加藤研の面々が帰ってゆきました。天気は雨、一応陽差しはあるのですが…山スキーを担いで池の峰目指して出かけました。スキーで滑り降りる程には雪が無く、ブッシュもひどく、途中で諦めて帰ってきました。一応はブッシュをかいぐり股を開けて降りては来ましたが…。

小屋で本を読んだりうたた寝していたら、もう午後五時です。明後日は出勤なので、帰ることにしました。小鳥がチロチロ、ビーと鳴いています。

鈴木栄君に

山の方は如何でした？まずは無事下山できてオメデトウ。コタツの上の一升瓶、飲ってください。小屋の鍵を頼みます。

OB14th 鈴木道夫

昭和 52 年 5 月 2 日(火)

入小屋<4 年 18 期 鈴木栄(元)・渡部(前)・壺井・向井/1 年 21 期 白木・椋代・山中・横溝>

11 時 5 分前、

1 年 4 人連れて入小屋。去年来た時より少し雪が多い。朝の苗名滝へ行って来る。水量が多く、滝壺裏までは行けない。夏に比べ倍くらいの迫力があつた。明日は笹ヶ峰まで行こうと思うが、雲が出てきた。これから 7 日まで居る積もりだけれど、何日天気になってくれるか。

4 年 18th ムカイ

徳繁君の一周忌に四国へ行って、帰りに寄ってみました。杉野沢から歩くつもりでしたが、メゲテタクシー等という贅沢をしてしまった。2500 円(駅から)です。5 人なら 500 円で済み、バスと余り変わらないように

す。

5 月の小屋は初めてです。毎年、この頃は山に行っていたものですから。のんびり小屋に来るのも実に楽しそうですね。そういえば僕はもう部員じゃなくなったのです、皆さん、掃除、水汲み、何でもしますから、お願いします。(と言いつつ、タイマンの本質は…)しかし、小屋の使用状態が実に悪い！小屋委員長経験者として、実に嘆かわしい。Y.W.V.のメンバーで大切にしたい。

4 年 18th ワタベ(前)

昭和 52 年 5 月 4 日(水)

下山<4 年 18 期 鈴木栄(元)・壺井>

午前 6 : 00

昨夜は午前 1 : 30 頃まで、大合唱大会が催された。女の子二人は早く寝たけど、あの猛烈な騒音の中で寝られたかどうか。一年生に、とてつもなく大きな声を出す奴が居て、小屋の外までも高らかに響いていた。私は元来、酒を飲むと寝るたちであり、歌は全く知らないもので、早く寝たかったが、あの音の洪水の中では、とてもそんな状態ではなかった。合唱大会終了後は麻雀大会に変わったようで、「リーチ」「ロン」などと言う言葉が飛び交っていた。一年生二人はずっと前から知ってるらしくて、栄君とワタベ君がどこまで健闘したか。

何故こんなに早く起きたかという、朝の写真を撮ろうと思ったからです。だけど外は曇り空でがっかりした。連休の北八ヶ岳の合宿では、新しく買ったばかりの広角レンズと望遠レンズで 40~50 枚位撮った。上高地、岳沢では雨で全然撮れなかった。苗名の滝ではものすごい水しぶきの中で、カメラ及び交換レンズがびしょ濡れしてしまった。滝壺の左側で虹が架かり素晴らしい景色だった。

今日は日中は笹ヶ峰へ行って、午後 6 : 00 か 7 : 00 頃、小屋を出て妙高の駅まで歩いて帰る積もりだ。食糧が余りに豊富なので、もう少しここで栄養をつけて帰りたいが仕方がない。

ところで今、女の子二人は台所がかいがかいしく働いている。こんなに早くから用意しなくても良いと言っても「いえ、やります」この一言である。やはり新入生はいいネ。これがいつまで続くやら (失礼)

午後 5 : 40

今日は笹ヶ峰の方でスキーをやってきました。一年の白木はもう、山スキースタイルで、勇猛な滑りっぷりで、何度転んでも再度突進していた。山中は、初めて滑った割には、結構滑れるようになった。板の上うまく体重を乗せている。”ムクダイ”はシュテムクリスチャニアが出来ている。今年のスキー講習会が楽しみである。

笹ヶ峰からの帰りはトラックに乗せて貰った。女の子二人は、運転手さんへのお礼に助手席に座り、男三人が荷台に乗った。既に荷物が在り、うまく座れなくて、お尻をひどく打って結構苦しかった。そろそろ飯が食べそうだ。今回は食費が 3000 円だそうで、食糧の豪華さは目を見張る物がある。今夜は寿司だそうで、これを食べたら帰ろう。

4年 18th 壺井

四年目にして初めて、歩いて笹ヶ峰まで行って感動した。小屋合宿などで、皆がハイキングに笹ヶ峰や苗名滝に行くときも、小屋に残っていた僕が。明日、帰らねば。

4年 18th ワタベ(旧)

昭和 52 年 5 月 5 日 (木)

下山<4年 18 期 渡部(前)/1年 21 期 白木・椋代・山中・横溝>

夜 7 時ごろ 4年 18 期 向井良作

◆今晚で 3 泊目になります。昨日の朝、栄が帰り、夜壺井が帰りました。今日はワタベと 1 年 21th 4 人(白木、ムクダイ女、山中女、横溝)が帰り、今、小屋は僕一人です。

今までこの小屋には、1 年の時 3 回、2 年の時 3 回、3 年 4 回と今回の 11 回来ていますが、一人で夜を過ごすのは初めてです。小屋整備とスキー以外の時期に来たのは 5 月の連休なので、大抵、予想外の人が数人居るのです。

◆今回は、岳沢に行った帰りに長野を周り、上野から来た 1 年生を拾って連れてきたのです。皆が帰った後もこうして残っているのは、明日ゼミ(松本ゼミ)の連中がここへ来るからです。物の弾みで、おい、小屋へ来ないか、と言ったのが運の尽きで、明日と明後日、男 4 人の世話をしやる羽目になったのです。山の生活など知らない奴が殆どなので、どんなことになるか幾分心配です。恐らく、ブレザーにボストンバッグを下げて、その中はパジャマやヘアトニックで、というようになるでしょう。連休前は忙しくて、妙高 4 号に乗ることと、バスは杉野沢行終点だぞ、と言ったきり出かけて来てしまったからです。相手もそれだけ聞くと安心して、オッわかった、なんぞと頷いていたけれど、今頃荷支度しながら悩んでいるだろうな。

◆去年の今頃は上高地。小梨平のキャビンの中でくたくたの雑魚寝だった。徳繁の遺体が発見され、一度は疲労で満たされた身体に、また新たな力が湧き出てくる。赤電話を特別に外に出してもらい、街路灯の下で電話番をする。上高地→岳沢、上高地→本部、本部→部員、本部→木材小屋と頻りに打ち合わせを行う。為

すべき事が為されてゆく。誰もが、ひとりひとり みんなが同じ事を考えている。その結果に何の疑問を抱くこともなく、ひたすら一途に、遺体を安らかに、ご両親の手元にと、そればかり考えていた。そして 5 月 6 日の落胆。あせりといらだち。

◆まだあれから 1 年。1976 年の 5 月 5 日と 1977 年 5 月 5 日との、この SCHENE のあまりの違い。1 年前の今日を思い出して、幾分充足感に似たものに浸る。しかし、この気持は 1 年前の、唯の思い出し。山小屋での一人の時、というものを満たすには、これしか無いのかもしれないが、現在を過去で満たす事ほど、時間の淋しいことは無い。1 年前の事は 1 年前に済んでしまった事であって、その幾らかは、今を形作っているかもしれないにしろ、最早 意味のない事だと思う ⇒既に使い果たした時間だと思う。1 秒たりとも昔には戻れない。そして確実に過去の範囲が大きくなっていく。

⇒今日はもう寝よう。そして明日は、夜明けに起きてゲレンデを駆け下りよう。

4年 18 期 向井

昭和 52 年 5 月 6 日(金)

入小屋<4年 18 期向井の友人松元ゼミ仲間 3 名>

昭和 52 年 5 月 7 日(土)

入小屋<OB15 期 萩生田、OB16 期本多>

午前 10 時頃、15 期萩生田さんと入小屋致しました。私 5/4 夜行にて北陸線経由、糸魚川より、中土駅にて、アルプスで来た萩生田氏と落ち合い、小谷温泉より、その日は大海川を詰めて、大倉沢、黒沢出合あたりにテントを張る。大海川は、中央は完全に沢が出て水量多く、両岸の残雪を利用して詰めたが、所々嫌なトラバースやら高まきの様な所、クレバスを飛び越えたり、かなりやっかいであった。雨も少々降ってきて、1 時頃設営。夕方より雨が強くなり明日が心配された。朝 5 時頃起床、快晴である。大倉沢、黒沢を右に見送って、荒管沢を詰める。途中よりアイゼンを履く、ダングになるが、キックステップより楽。途中より、笹平より関東に伸びる尾根に取り付く。上部はかなり急な雪壁で、ピッケルで一歩ずつ確実にアンカーを取って登った。展望も大変良く、戸隠の山々や、金山、海谷そして北の白馬から穂高の方まで見えてくる。笹平はテン場として絶好です。雨飾をピストンして茂倉尾根と海谷の方面の尾根の分岐まで降下して茂倉尾根へ取り付く。金山が非常に遠く、高く見え、ド快晴、疲労と、全くウンザリする。とにかく快晴、北アルプス丸見え、海谷山が丸見えで、ひたすら体力を騙し騙し

進む。金山のピークは大平原という感じ、焼、火打もこちら側からは雪が少なく、若干迫力に欠けるが、感激はひとしお（笹ヶ峰も見えて嬉しかった）。ここから天狗原とのコルへと下り、山溪のガイド通り、天狗原の急斜面をトラバースして薬師尾根へ出ようとするが、非常に危うい斜面で、とうとうザイルで確保して下りつつトラバースして、やっと薬師尾根へ。尾根をダイレクトに下る。ところが下へ行くにつれて、尾根が広くなり、一本間違えて下り、沢通しに行けず、高巻くが、時刻が六時半位になり、その日の内に小屋入りすることを諦めて、尾根上で幕営する。湿ったテントとシュラフで、久し振りに冬山訓練の惨めさを味わい、明日こそは小屋、と思いつつおやすみなさい。

翌日、一本尾根を越して、夏道が所々出ているところを発見しやっとな真川に下降し、杉野沢橋に出る。例年より雪の少ない笹ヶ峰を見ながら、かったるい林道を歩き、やっとな小屋へ。10時頃でした。

今回は、二日目、ややドジを踏んだが、好天に恵まれ、素晴らしい展望を満喫しつつ、我ながら感心する体力で、無事縦走を完成いたしました。このコースは、少々山歩きに慣れた方々なら、天候に恵まれれば、大変素晴らしい縦走をする事が出来ると思います。注意点は、大海川の残雪の状態と、荒管沢の雪崩、笹平直下の雪壁、天狗原のトラバース（或いは、ピークからの雪尻を越えての下り）と、最後の尾根のルートファインディングと思われます。尚、海谷は小さな剣岳という感じで、仲々迫力があり、かなり困難な山 かと思われました。

以上、簡単ですが積雪期のワングル初縦走（これが言いたかった!）と思われるので、紹介いたします。現在、5/8 午前2時30分です。小生、今日の赤倉で名古屋へ行き、大阪へ帰るつもりです。今度のOB総会へは、是非出席致したいと思っておりますので宜しく。去年の2件の事故で、非常にビビルようになりまして、良い傾向と言え言えませんが、何か、山歩きに慣れないせいかな、”こわい”という感覚が、以前より強くなったことは事実です。

今日（5/7）午後は、干し物をしてから、（向井と、その友人3人は池の平へ遊びに行った）小屋の前でポンチョを敷いて、週刊誌を読みながら昼寝をした。大満足！

夜は6人でREDダブるサイズを空けて、日本酒を分らないほど飲んで、今これを書いて寝ます。

向井も苦労した様です。本当に御苦労さん。でもやっぱり、小生OBです。これは仕方ないことです。本当はいろいろ感じたことあったけど、うまく言えません。今度はお正月になるかもしれません。でも本当に山小屋は落ち着くのです。皆様、小屋を愛してくださいませ！16期”元山小屋委員長”本多でした。さいなら。

OB16th 本多

昭和 52 年 6 月 18 日(土)

入小屋<OB17 期 村山・梅野・梅野会社仲間大人5人 小人4人>

17 期梅野他大人5人、小人4人。 付属 17 期村山。

天気 あめ時々曇り 井戸使用不可

新潟から約3時間、会社の皆と山小屋へ来ました。久し振りでのおんびりしました。また明日から仕事です。夏はとても忙しそう、今度来れるのは9月になりそうです。山小屋整備の後、きれいな所へ来ます。子供たちがとても喜んでます。虫は居るし、花は咲いているし…

8月少人数で新潟へ来たなら寄って下さい。

OB17 期 Umeno 梅野

昭和 52 年 6 月 19 日(日)

下山<OB17 期 村山・梅野・梅野会社仲間大人5人 小人4人>

11:00am

現在雨。笹ヶ峰に行くのをやめて、1:40pm のバスで下ります。

OB17 期 梅野

昭和 52 年 6 月 25 日 (土)

入小屋<OB17 期 木村善行/4年18期 向井良作/2年20期 西田雅典・清水恵子>

昭和 52 年 6 月 26 日(日)

妙高まで～千曲川の流れに沿って～<木村・向井・西田・清水>

昨日午後2:00頃、向井さんのうんこチックで東京から千曲川の流れに沿って、小屋に着く。途中、運転は4人で交換でやった。何回か死にかけたが、心中はカンベンと、みんな急ハンドル・急ブレーキ・歩行者保護不履行etcなど、やっちゃあいけない手段で、その窮地を切り抜けた。特に清水の運転は…。途中、長野の手前で、千曲川の堤に降りた。天気は快晴、体調良好で、リンゴを囓っていた。心配していた碓井バイパスも、多少のガスに悩まされながらも、名手木村氏の手放し運転によって切り抜けた、という安心感もあってか、千曲川での初夏の一時は、素晴らしかった。川は延々と続き、山は連なっていた。初夏うらら。次は、待ちに待ったと言うか、突然行くことに決まった野尻

湖。季節が季節だけに、観光客が多く、華麗な洋装姿のアベックや、食料充分の家族ピクニック等にもめげず、しっかりとうんこシビックに乗った、クソジーパン姿のYWV 4人組は、手こぎボートに乗ったのです。木村さんは、強引に清水を奪い、僕と向井さんは滅多にない男同士のボートでしっかりと漕いで行きました。” やったね！”

野尻湖を過ぎればすぐ、なえな小屋です。これから4人の運転について一言。

○木村氏→手放しハンドルが特徴、首運動も特徴。くしゃみも特徴。

○向井氏→加速・減速不良。エンストが特徴です。右側通行大得意。

○清水→ダンマリ笑い。泣かない清水が特徴。加速不良。右折優先運転が特徴。

○西田→加速・減速・歩行者保護、すべて優！。やったね。ドライバーの鏡、第2の黒澤。

2年20th M. Nishida 西田

昭和52年6月27日(月)

” 戸隠高原ドライブ” 天気◎

10:30 小屋出発、戸隠高原まで約1時間、戸隠牧場で昼寝、越水原にて休憩。妙高温泉にて入浴。やったね。 M.Nishida

今8:50pm、小屋の内は、僕一人、向井氏は外で、火の周りで遊んでいる。木村さん、清水は散歩。小屋に一人で居ると、いろいろ想い巡る事がある。小屋合宿やスキー*・スキーツアーの時などは、みんないっぱい居て気付かなかった事だが、今更ながらYWVという団体の中で偶然巡り会った友人との運命である。いかにも不思議な物で、生まれも育ちも、環境も考えも違っている人達と、どういう訳で巡り会ったんだろう。生まれた時から、補助ロープで結ばれていたとしたか、考えられぬ。こういう巡り会いは大切にしたい。僕は、そういう巡り会いの中に在る **feeling** というか、” 感じ” を大事にしたい。後立で逢った人は、今何をしているだろう。

僕もいよいよ、そろそろ下宿生活1ヶ月を、後1週間で迎える。小屋に居る方が、下宿に居るより安上がりである。そして、何よりも山がすぐ見え、緑がいっぱい、山菜も採れるということが、僕を小屋が引きつける処である。今、外では向井氏、木村氏が一生懸命清水に酒を勧めている。ちょっとやかましいが、たった一人だったら、カ一杯淋しいだろう。

小屋の朝はいいが、夜もまた良い。今右の方に徳繁さんが居るが、徳繁さんは山についてどう考えていたんだろうか……。やっぱり、山に行きたいという気持ちにしても、放浪したいという気持ちにしても、理屈は無い。そういう純粋な気持ちを失ってはならないと思う。

でも、クラブでは、ひたすら そうもいかない。要するにYWV的な山への姿勢を考えるべきだ。それは崩してはいけない、クラブとしての神聖なものとするべきだ。誰だって天気が良ければ、岩陵や沢でないにしても、丘や山へ行きたいと思う。それは理想だと言ってしまってもいいものか、僕には分からない。” クラブの拘束力⇔個人の純粋な気持ち” の調和ではなく、矛盾をどういうふうに解決していけばいいか、曖昧な自然観とか、AとBとの調和とか言う軟派な言葉はもう必要無いのだ。純粋な気持は野蛮とは違う、野心を持ったクライマーは利己的となる。それは、およそクラブ的人間じゃない。

今のYWVは、一見、どうでもいいと思われるが、実は至極重要な、表面的なクラブの拘束力が欠如している。共同装備不良、ワングル時間、会計、部室の不整理など、最近の努力にも拘わらず、それがクラブ単位の風潮として広まっていないのが実情。部会にしても、どうも活気がない。特に2年生は、1年は純粋で、クラブに対して従順である。2年は、少なくとも僕は、上記の矛盾……………(断)

2年20th 西田

昭和52年6月28日(火)

下山<OB17期 木村善行/4年18期 向井良作/2年20期 西田雅典・清水恵子>

昭和52年8月12日(金)

10:00pm

妙高高原駅のトイレにて、…「アレ！向井じゃないか。」 「ナンダ、お前か。」

11日の妙高5号で、向井は家族旅行、小生は中3の男の子と妙高へ来たわけです。本来ならば、白馬か南アルプスへ連れて行く筈が、天候が思わしくなく、それじゃ火打でも登ろうかと、またまたやって来た訳です。山小屋はこれで8回目。ケッコウ来てますな。今年になって3月の雪遊び、5月の暇つぶし、そして今回、現役員より来てるんじゃないかな。

14期の鈴木道夫さん、一升瓶どうも有り難う御座いました。4/29夜行発4/30第3リフト赤倉山、5/1三田原高谷池、5/2、テイタイ、5/3火打小屋着でしたので、会えずじまいで残念でした。5月の連休を思い出して、手帳を取り出してみると、いろんなことが浮かんできます。鮮明な印象が蘇ります。

さて、明日は火打に登り、明後日、あわよくば妙高に登り、松本に行って、馬刺でも食べ、帰ることになるでしょう。

4年18th 鈴木栄(元)

…雨がふったりやんだり…

山小屋に寝るのは、生まれて初めて。思っていたより、きれいだった。夕食はバーベキュー、なかなかうまかった。のんびりしてられるのは今のうちだけ。また家へ帰ればおちつかない毎日、Because 来年受験だから。ほんとにマイツチャウ、だから旅行中は勉強とはさらば！さらば！ジャ。

(中3 井澤克仁)

昭和52年8月25日(木)

入小屋<A(11)> A:創立20周年記念山小屋集結運営委員長

昭和52年8月26日(金)

入小屋<現役大勢予定> くもり 風少々強し
今何時なんだろう、小屋の時計は12時半を指しているが、昨日来た時も12時半だったから、多分動いてないのだろう。ラジオを持ってこなかったの、昨夜王選手が752号を打ったのかも気になる。

今回は久しぶりに信越線で来ました、3年ぶりかな。その間に国鉄運賃はなんと高くなったのでしょうか。白山に乗ったこともあるのですが、実に3700円、昔なら横浜から妙高を往復して、再び妙高へ来れた金額です。その上白山1号は混んでいて座れずじまい。通路にザックを置いて腰掛けていると、特急は車内販売が多いのか、やたらと通ります、そのたんびに立ち、ザックをどけて…

東京地方は今日で連続降雨20日目ですが、どうしたのでしょうか。昨日出かけるときはやはり冷たい雨が降っていました。しかし妙高高原駅へ降り立つと真っ青な空が見えます。ほんのちょっとですが、それが又、ものすごくきれい、カンゲキ！カンゲキ！

小屋はケッコウ綺麗になっています。その中に女性用だと思われるザックが二つ、ムムム…しかし残念、2日前に上高地へ行った模様。もっと早く来れば良かった。

本当に今、何時頃なのだろう。日頃から時計は持たない主義なので、こうして一人で出かけてくると困ります。午前中であろうと言うことは分かりますが(目を覚ましたのが1時間くらい前)、曇っていて、太陽の高さがさっぱり分かりません。以前、小屋にいて笹ヶ峰行きが一番バスの音が夜と昼の目安になっていたが、今日はその音を聞き逃したし、その他車なんて1台も通らないようです。

これから岡田さん宅へ行こうと思いますが、どうせ氏は選挙で飛び回っていて留守でしょう。これで選挙にぶつかったのは4、5回目ですが、そのたんびに山の小さな町は騒然となります。以前、岡田氏宅で、由々

しき現場を見たことがあります。

今回小屋へ来た目的は、ワンゲル創立20周年記念山小屋終結の為です。OBは20人~25人、と現役全員の予定です。私が運営委員長をしていますので、何とか楽しい集まりにしたいと思っていますのですが、どうなりますことやら。それともう一つ、やはり20周年記念に関連して、来年スカイラインを発行しますが、その中に山小屋関係の原稿を載せるのです。その原稿も私が引き受けてしまったので、一日早く来て、その原稿を書きたいと思っていたのですが…。

小屋が出来て丸九年の歳月が過ぎました。当時現役一年生だった私も30に手が届くところ。小屋が余り変わってないように、私も殆ど変わってない様に思える。当時に仲間で、今回来るのは何人だろう、私だけかも知れない。

落葉松は春の新緑、秋の落ち葉、きれいだけれど黒姫山が見えなくなったのは残念だ。

夕方には現役の人たちが多勢やって来ます。何か心配です。昔よくありました。私達が現役だった頃、数人で小屋にいて、顔も良く知らないOBなどが来ると、何か胡散臭い顔をしたものです。隅の方で小さくしていますので、外へ放り出さないでください。

やはり酒を買ってくれば良かったと思います。このところ、酒を飲む機会が多く、せめて一人の時はと思って持ってこなかったのですが、何となく落ち着きません。

昨日、駅前のスーパーで食料を買っているとき、納豆が目に付きました。一つ35円なのですが、三つだと75円なのです。すごく安いと思い、本来好きなので三つ買いました。ところが昨夜の内に我が山小屋の良き(悪しき)住人のネズミ君が失敬しようとしたらしく、納豆の容器の発泡スチロールが食い破れているのです。セロファンが邪魔になったのか、ネズミ君は納豆がお口に召さないのか、中身は無事だった様です。それで、もしネズミ君が、納豆が好物だったらと思想像しますと結構面白い様です。そういえば井戸にもネズミ君の死体が沈んでいました。

昔の日記を読み返そうと思いましたが、見つかりません。横浜の方に行っているのでしょうか。やはり昔のとはいえ、日誌はNo1から全て、この小屋に置いてある方が良いと思いますが。

昔から思っていたことですが、小屋周辺には蝉の鳴き声や小鳥のさえずりが余りありません。標高1250m位ならそう下界と変わらないと思うのですが、どうしてでしょう。そう言えば今年、東京地方は異常に蝉が少ないそうです、新聞記事にもなったくらいです。前途が明るいという物事が、本当に少ない今日この頃です。私もそろそろ嫁さんでも貰わなければ…あまり関係が無いが。

最近どこどこへ行きたい、山へ登りたいという意欲が

無くなりました。せいぜい山小屋に来て妙高か火打へ登れば…と そんな事位です。車に乗り出したのがいけなかったとは思いますが、今の仕事に車は不可欠です。しかし私なりに今でもトレーニングはしています。時々、家から会社までの4kmをランニングしますし、昼休みは卓球（高校時代より上手になったと本人は思っています）やバドミントンで身体を動かします。今年の夏からは野球も始めました。私は4番でファースト、初めの試合はミスマッチで13対2、2試合目は19対18でサヨナラ負け、今度は30日です。この試合に勝てば皆でユニホームを買う事にしています。いつしか午後を回ったようです。2時頃かな。今まで書いたことを読み返して、つくづく自分が充実した日々を送っていないか、嫌になります。昔の思い出に浸ったり、愚痴が多すぎます。未来を展望するより、過去を追った方が簡単だからでしょうが、これでは余りにも自分が嫌になります。こんな静かなところに一人で居るせいでしょうか。

→再び、今何時？既に薄暗くなっています。だのに現役諸君は来ません、最終の3時半に間に合わなかったのでしょうか。そうすると、杉野沢から歩きですか、可哀想に。今日一日、何もしませんでした。結局、岡田さんへも行きませんでした。小屋の周りを歩いただけ、天気もスカッとしません。私の気持ちもスカッとしません。

？

昭和52年8月27日(土)

小屋合宿（現役）

昭和52年8月29日(月)

小屋合宿終了コンパ

昭和52年8月31日(水)

2年20期 加賀友規（材料化学）

小屋合宿も終わり、一昨日はコンパ、昨日は25人残って、みんなで輪になってゲームで笑った。しかし今日は僕と青山の二人。気味の悪い小屋です。二人の小屋など初めてだからです。

二人で居ると本当にやる事が無く、酒を飲み（当然に僕は少量）、歌集を広げ、思い出話だけです。

今日は笹ヶ峰へ行って来ました。来年やるだろうと思うスキーツアーの下見のつもりです。20期としてはスキーツアーをやるかどうか決めては居ないが、自分がスキーツアーに行ってもかなり楽しかったし、良い思い出となっているので、これを後輩に伝えたいと思うし、クラブ員としての義務だと思ったからである。あ

る漫画を読んでいたら、「親が子供に供える愛情は、計り知れなく深く、子供は一生かかってもその愛情を返すことが出来ない。だからその愛情を自分の子供に注ぐ」とあった。クラブの伝統も同様だと思う。自分が先輩から受け継いだものを、更に高めて後輩に伝えていく努力をしてみたいと思う。

こんな minor な気持の時、僕の部屋に一人で居たら Rock を headphone で drive on しているだろうけど、今、少し minor だけど、そんな気持が全然起きない。静かっつのもいいもんだ。

左のページは加賀が書くというので、僕は右のページを戴きました。

今年的小屋合宿は、レポートという いわば私的な理由で、小屋へはいるのが大変遅れてしまい、皆さんに御迷惑をかけてしまいました。ゴメンナサイ。何となく後味の悪い小屋合宿になってしまいました。それでもコンパとなると、そこはお酒の好きな僕のこと、大いに騒ぎました。今日で4日連続酒浸りです。

来年の春は、今年同様笹ヶ峰へスキーツアーを予測して、加賀と二人で笹ヶ峰へ行って来ました。僕は夏道を歩くのは初めてで、今年のスキーツアーの時の記憶と照らし合わせながら歩いてみました。案外忘れていた所が多く、また夏と冬の道では、随分感じが違いビックリしてしまいました。それでも緩やかな尾根筋なんかはよく分かり、来年のスキーツアーの時には役立ってくれると思います。夏が終わりを告げているような笹ヶ峰、本当に人が少なく静かでした。夏の盛りに来るよりずっと良い気分でした。僕に子供が出来たら、遊園地に連れて行く代わりに、ここへ是非連れてこようと思います。勿論この小屋に寄って。

僕もいつの間にか二年生、その秋を迎えようとしています。小屋では、我々のL養の話し合いを進め、いよいよ来たな、といった感じです。今のところ、L養は僕の考えに近い線で話が進み、なかなか と言った感じ。本当にこれからは、クラブのことをよく考えて行動しなくては。

昭和52年9月1日(木)

下山<2年20期 加賀・青山>

2年20期 加賀友規（材化）

夜

昨夜、何故か minor だったが、ウソのような major の気持になっている。大得意の言葉が連発で出そうである。

「当然でしょー。」

「あいやー。」

「これは痛い。」

誰かの口癖に似ているなァー。

今回星座板を持ってきたんです。ところがどっこい。なかなか空が晴れてくれず、un ラッキーと思っていたんです。時々快晴とも思えるくらい晴れるんですが、更に very un ラッキーなことに満月なんですよ。これ程満月が明るいとは思っても見なかったんですよ。やっと今日小キジをしに外に出てみると、少し月が欠けていて、オリオンが確認できた程度でした。very 悔しかったです。

朝

今日は長野などでも見物してこよう等と思っていたが、結局 10:30 のバスには乗れなかった。13:30 のバスで妙高に行って、長野へ行こうと思う。

凡そ1年半、W.V.に居た。何故か不思議に、最近あまり山に登りたいとは思わなくなった。もし今年の今頃、北アルプスに p w などが出ていたら、真っ先に参加していただろう。今夏は 10 日間、南アルプスを縦走して充分満足した。沖縄に行けなかったのが残念な夏だったなあと思っている。他に色々なことがしてみたい。many、メニュー、things. とりあえず今冬何をしよう。

2年 20th 加賀

昭和 52 年 11 月 10 日(木)

入小屋<2年20期 作山・他4名>

P.M. 9:00

☆Something

きのうまでとはうってかわって
ひとりひとりの声が
やけにか細い
しけた顔した男5人
ため息まじりの声の中で
何を思うのだろう
かっこいいね男は
この憂うつな雰囲気はただよるときでさえ
底しれぬ情熱がひそんでいるようで

present by Tomita

P.M. 9:02

射手座の男

あと1ヶ月あまりで21才

20才の秋にはじめて「秋」を感じた

むなしい

1人になりたい

1人旅に出たい

ああ、秋だなあ…

酒でも飲んでねてしまおうか

静かに星でも見ていようか。

シュラフの中で ペンをすべらす。秋だなあー。

君はあの日の事をおぼえていますか

あれから1年半たったなんてとても信じられない

夜風が冷たい事も忘れていました

(男)・女

☆僕の好きな言葉全集

☆Z君：忍. 究極. 人間. 欲求不満. Blues. 陶酔.
友

☆J君：白鳥座. 8. 情熱. 久美子. 北海道. 俺だけ
の人生. アフリカ. 十代(追憶). 森林. 塩騒. 本
物. 燃える. 純粹. 静と動. 光と影

☆G君：かえで. かすり. だいじょうぶ. ありがとう.
嘆息. 膝枕. 波紋. げんき?. やったあ!

☆D君：生きる. 灰色の雲. 瞳. 勝利. 俺の空. 不動
心. 自由. 漂流. 意味なしフレーズ. 風来坊

☆E君：11. 尾瀬. 京都. やったべ. 晩秋. 一杯のオ
レンジ・ペコ. Planets. 水苔. 本音. 気色悪い(「き
しきわりい」と読む). 風来坊

☆★僕の嫌いな言葉全集

☆Z君：自己満足. 偽善

☆J君：うわべ. 差別. 疲れた目. にせもの

☆G君：燃え尽きる

☆D君：束縛. 能弁. あきらめ. 逃避

☆E君：たてまえ. 偽り. へび. 下宿のバーサン

P.M11:40

どこまでもあなたについてゆくわ
なんてかわいいんだ
君の気持ちを、いまさら
きのうまでそんなこと口にもしなかったくせに
信じられない
思いがけない言葉に
俺の打算はもろくも、
くずれさってゆく
どこまでもあなたについてゆくわ
なんてかわいいんだ
君の気持ちを…

2200+240+110+130+5000=7680

7680÷5=1536…→1500円

昭和 52 年 11 月 11 日(金)

下山<2年20期 作山・他4名>

0:00

オハヨウサンデス。今、Just 0:00. 今日は僕の 21
回目の Birthday なのです。小屋の整備におじゃま虫
で付いてきて、生まれて初めて山で(山小屋)の誕生
日を迎えました。今小屋にいるのは僕以外、みんな 20
才、僕が最長老です。年だなあー とつくづく 感じ
させられます。

やはり、少人数の小屋はいい。静かでひっそりとして
いて、本当に安らぎがある。来年もこの時期に又来よ
うと心に決めました。後1ヶ月半もすれば又来ます。
スキー講習会、今年は山スキーからゲレンデスキーに
変え、少しは上達するのではと、ほのかな期待を持っ
ています。

21才になって別に何も変わりはありません。でも、何
かを求めて、その何かを見出そうと頑張るつもりです。
あんまりアホな事ばかりも、やっていたられないモンネ
ー。

Written by Sakutaro (作山?)

5:10

あまりの寒さに、とうとう起き出しました。水田に羽
毛シュラフを奪われたため、明け方の寒さがとても耐
えきれず、練炭火鉢をコタツに入れ、ストーブを点け、
ガスランプをつけ、これを書いています。現在の小屋
の室温は温度計が壊れている為不明(でも5℃以下は
ありそう。)11月だというのにこの寒さ。12月のスキ
ー講習会ではどうなることやら。皆さん、冬期の小屋
に入る前には必ず耐寒訓練をしましょう。

5:40. 練炭火鉢が熱いくらいです。ヤカンでも架け

ておこうかと思えます。外も薄明るくなってきました。聞こえるのはガスランプと石油ストーブの音だけです。あとは何も聞こえません。静寂というのはこういう状態を言うのだとつくづく感じます。今まで小屋に4回来ましたが、こんな静かな山小屋は初めてです。確かに、人が居るときは賑やかで、それなりの良さはあるのですが、僕個人としては、今の状態の小屋が本当の山小屋の姿であり、一番良いのではないかと思います。今日、横浜へ帰ります。カーリーに乗って。たった一泊だったけど、実に満ち足りたものがありました。いろいろ考えることも出来たし、雪を薄く被った妙高山の秀麗な姿も見ることが出来ました。この時期に少人数で小屋に入られる事を是非お奨めします。

あっ、お湯が沸いたみたいです。とっておきのミルクココアを入れましょう。外はかなり明るくなりました。みんな未だ寝ています。もっとも、良く寝てもらわないと今日の運転が怖い。運転免許の無い僕としては、至って気楽な身分で、おそらくずっと、横浜まで寝ていくでしょう。では又 12 月に会いましょう。

Good-by 苗名小屋

6:00 今外へ出てびっくりしました。な、なんと雪が降っています。この分だと 15-20 cm位積もりそうです。アリ帰れるかなあ。

6:26 雪

作山の奴が朝早くから雪だナンドとギャーギャー叫ぶものだから、とうとう起きる羽目になってしまった。昨日の晩秋の風漂う小屋、そして小屋の周りの黒っぽかった木々は、朝一変して白い冬の雪景色となった。作山の羽毛シュラフで快適な夜を過ごしたが、結局作山のおかげで眠い朝を迎えてしまった。

小屋、白い息、ストーブの音、やかんの湯気、練炭の熱さ…寒い小屋は好きなんだ。独特の雰囲気がある。未だ帰る気が全然しないんだけど、また横浜に戻らねば、大学祭の準備をみんな一生懸命にやっているんだろう。今回は冬に備える為に、整備に来ただけで、横浜に帰ったらみんなと手伝って、素晴らしい大学祭にしなくっちゃな。

手紙を書いたらまた少し寝よう。S52.11.11。一作山の生誕日ー

2年 20th TM.(水田?)

A.M. 10:20 雪

今、雪です。これからどんどん積もって、冬にはスキーが出来ますように。5人とも働かない。働く人間が欲しい。

19th 南

昭和 52 年 12 月 20 日(火)

入小屋<2年 20期 青山・姉・多屋・小塚(外)>

6:19pm 雪

小屋へ一番乗りしたのはいいけれど、昨日からの風邪が全然治らず、一日を無駄にしてしまった。明日は絶対に滑ってみせる。ゲレンデの状態は思わしくなく、第三、第四がやっと滑れる位らしい。小屋へはいるにも冬道が Bush で通れず、夏道経由なので疲れてしまった。小屋の周りは 60 cm程度の積雪で、井戸掘りも楽だった。現在、小屋には部外者 3 人と僕が居る。広沢さんの後輩の小塚久雄、田屋敏彦、それに僕のお姉ちゃんだ。今シーズンは、ゆっくり、のんびり小屋に居ようと思っている。

小屋は風邪ひき人間にとって寒すぎる。”君の井”を飲んで体を温めようとしているが、なかなか暖まらない。Guts で飲まなくては。

2年 20期 I.A.

昭和 52 年 12 月 21 日(水)

17:55 雪時々曇り

夜行で入ってきたワングル一名。ワングル部外者 2 名 (ESS&少林寺) 何故か雪。今年は雪が無く各地のゲレンデは困っていたのだが、ここに来てドット降っているのです。いつもの調子で小屋に入ろうとしたら、ザーン、ラッセル、ラッセルなのです。ラッセルのトップと後では、天国と地獄、勿論地獄はトップ、雪の恐ろしさ、あの八甲田の教訓を今一度。何と小屋とゲレンデの間は遠いのでしょうか！おかあさん、僕の小屋はどこに行ったのでしょうか。…もうすぐ夕食のトリカマ(のみ)が出来ます。早く食べたいのです。では、カマを火から下ろす為に、ペンを手から降ろします。ではまた。

2年 20期 H.Ishi.石垣

昭和 52 年 12 月 23 日(金)

入小屋<2年 20期 石垣・坂巻・木村(外)・西田・岡本・玉木・小泉/1年 21期 白木・藤倉・溝畑>

5:56pm

昨日の夜行で、小泉、岡本、藤倉、溝畑、白木、玉木、小生の 7 人が入小屋しました。久々の夜行でちょっと疲れ気味、加えて私事ながら、木曜日までのバイトの疲れ、そして風邪ひいちゃったもんで、力一杯疲労してます。しかし、なえなっ子の我々 YWV 員は、朝からちゃんと滑ってきました。今日は天候が良好で、上信越の山々も見え最高でした。久々のスキーであります。例によって華麗なる力強いスキーをゲレンデで披露しました。とにかく今はスキーも終わり、二つの

コタツをくっつけて、石垣の友人と、広沢さんの友人と、その他諸々、総勢 13 人で、最初の晩餐が開かれようとしています。今年はガンガン滑って、うまくなるべく努力します。13 人くらいがまあまあ、丁度いい雰囲気、これからの酒と中華丼が楽しみです。

2年20th M.N.

昭和 52 年 12 月 24 日(土)

入小屋<4年18期 山口・渡部/3年19期 中村真弓/2年20期 板倉/1年21期 山中・山室・渡部>

昭和 52 年 12 月 25 日(日)

入小屋<OB16期 植松/OB17期 木村/4年18期 壺井/3年19期 磯尾・中島・井上・南・富田・海野/2年20期 熊沢・広子・水田・下村・太田・増田・田本・武藤・田中・加賀・作山/1年21期 中川・籠橋・山田・鳥井・山本・山崎・村松・岩崎・横溝>
下山<坂巻・木村(外)、多屋・小塚(外),>

昭和 52 年 12 月 29 日(木)

入小屋<久保・石井・白川(19)、中野(16)>
下山<OB17期 木村/4年18期 渡部/3年19期 中村真弓/2年20期 石垣・岡本・増田・田本・小泉・田中・加賀/1年21期 藤倉・渡部>

昭和 52 年 12 月 30 日(金)

下山<OB16期 植松/4年18期 壺井/3年19期 磯尾・中島・井上・南・富田・久保・石井・白川・海野/2年20期 水田・下村・太田・玉木・板倉・作山/1年21期・山本・山崎・岩崎・山中・山室・溝畑・中川・村松> 雨

小屋日誌が一時行方不明だったため、ちょっと日にちが飛びます。
冬だというのに雨で、今日帰るのに困っています。

ワ・タ・ベ?

ガスのち曇り

昨日リフトが止まり、その間ビールをカレーショップで飲んでいました。その直後、大転倒してしまい痛い捻挫をしてしまいました。おかげで今日も片足でケンケン。もう、真っ青。当分スキーは出来ません。今日の夜はOBも沢山居て、半分の8人居ます。今日は何と30日。捻挫したおかげで風呂にも行けず、バッチイ年を越しそうです。小屋に入って早や十日、我が家

の生活が忘れてしまいそうです。トップに小屋に入り段々人が増え、また人が減り、何だか小屋の主になった気分です。やっぱり小屋はいい!これから先も小屋を大事にしていきたいものです。

(2年IA.20期) 青山

昭和 52 年 12 月 31 日(土)

入小屋<OB16期 植松/3年19期 中島・南・石井・白川>
下山<1年21期 籠橋・山田・鳥井・白木>

2:15 A.M.

今、酒を飲んでいます。OBの中島さん、牛窪さん、萩生田さん、佐木さん、中野さん、本多さんetc...と一緒に、二年:広子、青、ムト、1年:横溝、カゴ、山田。3年:クマの総勢16人で、ささやかな晦日パーティーを開き、今未だ起きてるのが、広子、クマ、僕の3人のみ。これから、酒もないのでラーメンでも食べようかと、広子とクマが作ってます。今宵は静かに楽しめる、今年最後の夜なので、頑張ってる。年越さないラーメンが出来たようです。また...

2年20th M.N.

スキー講習会記録

12/25 雪、視界20m

女の部

山中:曲がる時必ず奇声を出す(ワオー)、名付けてCrying turn.

山室:妙高のスピード王

渡部:妙高の暴走族... (二人共) 山回りを早く体得しよう。

男の部

鳥居:彼がゲレンデへ出るときはいつも雪かガス、彼は遠慮して風邪を引いてしまいました。

村松:女の子と競争して負けた人。

横溝:3日間、講師の磯尾君を小屋前に釘付けにしたワングル切つての名人。

溝畑:自衛隊ゆずりの名スキーヤー、二年生のバラレルを尻目に華麗なパラレル。

籠橋・山田:お互い一緒に滑って慰め合った人達。

藤倉:こいつは***かと思わせた程、プフルークファーレンでは体が左に傾く人。

山本:1日券を買ってガッツで滑ってた人。

山崎:滑らない時は菅原文太風、スキーを履くとゴツツイスキー。

白木:いい加減スキー

岩崎:社長の余暇スキー

中川:几帳面スキー

3年 19th 中島

at 11:00 ドボーン 10回勝負記録 (略) 西田+4・ウシクボ+9・本多-8・はぎゅうだ-10・ムトウ+24・(ヨコミゾ)・イソオー-9.

大晦日 雨

昨日赤倉へ遊びに出掛けて、年を越すために又戻って参りました。昨日は糊の利いたシーツに、暖かい毛布、マットレス、テーブルでの食事。小屋の生活とはうって変わって大豪勢な1日でした。しかし今、小屋に戻ってみると、ヤケに落ちていてしまう。何と悲しい習性かな。もう普通の生活には戻れなくなってしまったみたい。小屋へ来て一週間目、ようやく静かな小屋になりました。やっぱり小屋は10人前後が最適みたい。余り少なすぎても淋しいし、余り多すぎても煩わしい。やっと静かになっても、もう明日は帰る日です。楽しい小屋生活からも解放されます。何となく後ろ髪を引かれる思いでパッキングをしま(?)す。自宅以外の所で年を越すのは2回目です。1回目は高谷池で、2回目は小屋で、又いつか小屋で年を越したいな。小屋での年越しは下界とは違って、何となく年が越していくみたい。精一杯贅沢して、みんなでお酒を飲んで、朝まで語り明かす。これも一つには、クラブにいたから、みんなが居るから、そして山登りが好きだから、関係ないけど、こんな年越しなら、毎年でもしたいのだけれど、そうもいかないから、隔年になってしまった。大晦日という行事も日本人らしい発想であるし、やっぱり日本人らしいと思う。蕎麦 食って、みんなで紅白を見たいけど、見えないから聞いて、十二時まで起きてます。そして零時一分迄起きていたら、来年は一年間「早起き」出来そうです。そう信じて、今晚は絶対に零時過ぎまで起きて居るんです。そして、お正月元旦は、朝お雑煮を食べて、オメデトウの挨拶を交わします。

とうとう大晦日、一年を振り返り、何をしてきたのになって思うと、あんまり大した事していない気もするし、いろいろやってきた気もする。兎に角いろんな事がありました、精神的な意味でも充実していたし、精力的に活動しました。勉強もしたかな(?)、山も行きました。夏合宿が終わってからも、しつこいくらいpwも出しました。巻機行って、丹沢行って、尾瀬も行きました。今年は、冬山へ行く分、山も行ったし、スキーもしました。そして今、忙しい一年が終わり、大晦日、明日からまた、私の新しい一年が始まります。来年こそは思い切り、自分の思い通りの事をしてみたい。そして、悔いの無い毎日がずっと続きますように。今晚の予定

7:45 現在 歌謡大賞 (…レコード大賞なので、あしからず…) 発表 (TBS)

9:00 紅白歌合戦 (NHK第一)

11:00 ゆく年来る年

12:00 お正月大会 (N氏のワンマンショー)

3年 19th 中島 T.N. (十九期)

☆レコード大賞 1977年度 ○歌唱賞 八代亜紀・山口百恵・石川さゆり・沢田研二・岩崎宏美

☆予想 7:50 現在 南さん・ムトウ

☆最優秀歌唱賞 石川さゆり<決定>、八代亜紀

☆レコード大賞 沢田研二<決定>

☆最優秀新人賞 清水健太郎<決定>

☆レコード大賞 沢田研二「勝手にしやがれ」

2年 20th 武藤 KM

去年に引き続き、今年もまた小屋で大晦日を迎えています。1977年は俺にとって、どんな年だったかな? いろいろな事があったような気がするけど、今思い出そうとしても仲々出てこない。まず、勉強不足だとつくづく思う。何の為に大学に来たのか、授業も唯付いていくだけ、そしてテストはカンニング。来年はもっと勉強しなくては… (いつも思うのだが) …途中で白川さんに遮られてしまった。

では、空けましておめでとう! <←本当は 12/31 の 9:05pm に書いている。チョンボ! >

(2年 20キ武藤 K. M.)

自宅以外で正月を迎えるのは、物心付いてから初めてである。例年 12月 31日の妙高2号で帰ったのだが、夏合宿以降、何をやるにつけても、「これが最後だ。」という気がするので、今年は山小屋で正月を迎えようという訳です。やはり僕はこの3年間、クラブに捕らわれすぎて居たかもしれない。3年間を振り返ってみると、俺の大学生活で、思い浮かぶのはクラブに関する事ばかり。新練一次でメチャメチャにバテた事。初めて見た雲海。上越。南ア。ひとつのことに打ち込む事は尊いと人は云う。その姿が最も美しいと人は云う。しかし本人にとってみれば、それ以外にやる事が多く有ったのではないかと思うのだ。ゼミ然り。社会、世界観然り。僕はこの三年間は、最も充実していたとは言えそうもない。クラブ (最も打ち込んでいた対象であったのにさえ) に関しても、やり残したことはいっぱいある。「もし、今なら俺は主将に立候補しよう」「もし今ならあの pw に参加しよう」 いや、もう云うまい。僕はどうも Post Variable Orientation の気があるのかもしれない。俺の三年間は、これで正解だったのだ。そう思って (心の底から) 今年にさよならしよう。そして来年は「If」という概念を無くそう。I will の年にし、一年後 I did と云ってみよう。今日は良い酒になりそうだ。

3年 19th TS 白川 12/31 9:35pm

スキー講習会の最中には15人も居た1年生も、今日、山田と籠橋が帰り、遂に僕1人になってしまった。殆どの1年が自宅で新年を迎えたいと云っていたが、実際、小屋で年を越すと、結構面白い。日頃会えないOBたちと1日中トランプをしたり、一緒に酒を飲んだり、こういう事はそうちょくちょくは無いと思う。その点で、早く帰った連中よりも良い経験をしたと思う。小屋に来るのは今度で3度目だが、やはり人の少ない方がいい。5月の時は少人数だったが、未だ何も分からない、本当の新入生だった。それに比べ今回は、もう7ヶ月クラブに居て、クラブのことも少しは分かるようになってきている。7ヶ月間で、自分にもかなりの変化があったと思う。他の1年よりも後まで居たのに、殆どその期間スキーはしなかった。長く居てうまくなろうと思った目論見は見事に失敗してしまった。3月にも長く居て頑張りた。少し酒に酔って乱筆乱文なのは勘弁。

12/31 1年21th ヨコミゾ横溝

今年はなかなか賑やかな大晦日だ。まずOB 牛窪さん(15期)、萩生田さん(15期)、本多さん(16期)、中野さん(16キ)、19期 白川さん、南さん、中島、磯尾さん(元)、熊沢さん(紅一点)、20期 古橋、青山、西田、武藤 21期 横溝
総勢16名、今10:20、紅白をみんなで歌って飲んで、楽しい。来年も良い年にしよう!

3年19th 中島?

今年も後1時間になった。この1年は色々な事があった。2、3月の合格・不合格、そして国大にどうにか紛れ込めた。今思うに、あの時は夢のようだったが、現在になると何だか、今の生活が自分にピッタリのような気がする。自分の一生で一番大きな転機だった様に思う。こんな年はもう、あまり無いような気がする。今まで高校時代、クラブには全然見向きもしなかった僕が、ワングルに入った事自体、革命的だった。このクラブに入って、色々な人達に逢って、とても良かったと思う。

12/31 追伸 11:26 1年21th ヨコミゾ 横溝

昭和53年1月1日(日)

下山<OB16期 中野/3年19期 中島・白川・熊沢・広子/2年20期 西田・武藤/1年21期 横溝>
横溝君に続いて小生が書くことにした。小生 16期の中野、横溝君とは5年の隔りがある。(…似顔絵途中3頁占領…)

似顔絵によって、私の文は中断された。似顔絵は白川によるものである。たった今、新年を迎えた。皆さん明けましておめでとう。牛窪さんが「今年はいいい仕事しよう。」と、新年の抱負を述べた。ところで本年は午年、年男は私(中野)と本多である。最近、化粧した女に嫌気がさしている。その点で、ワングルの現役の女の子は良い。今、山小屋の紅一点は熊沢さんである。山小屋で女性と一緒に年を越せて大満足である。国大OBとなって2年になるが、後輩が一年一年増えてゆき、ワングルの輪が広がってゆくのは良い気持ちだ。新年を迎えて ワングル 万歳

1978年1月1日 OB16期 中野

オレ達の代の年が暮れる。過信に満ちて、突っ張り通した主将としての年だった。海野を始め、執行部員には、熱くなった僕の代弁をしてくれた事を感謝する。酔ったので、字が乱れてカンベン!

3年19th T.I.磯尾? 19期男子バンザイ!

イソオ!ごくろうさん!

初めて、家以外で迎えたお正月です。昨年も年越しをする気で、小屋に入ったのだけれど、一人一人帰っていくのを見ていたら、家が恋しくなっちゃって31日に帰ってしまいました。今回は遂にヤッタ!家ではなくて、山小屋で、女の子1人で、お酒を飲んで、こうやって迎えた新年が、どういう意味を持つのか、普通の女の子みたいに、自宅で両親としんみりと、新年を迎えるのがいいのか、今は全く判らないけど、とにかく今は、こういう新年の迎え方に満足しています。女、娘、女子大生、等としては、失格かもしれないけど、YWV女子部員へ、一回はこんな新年の迎え方も、一度は経験したらいいと思います。

(3年19期 T. K.) 熊沢

1/1 AM 1:45

AM 1:25 やっとサンアントンから西田と着きました。酒を買いに行ったのだけれども、帰りは日も隠れ、ガスも濃く、渋谷の上で植松さんらのライトで安心しました。今はごきげんで、「しあわせいっぱい」を聞いて「妙高山」を飲んでます。今度は本当にあけまして おめでとう!
今年も充実した年をおくろう!

(2年20期 K.Muto)

再び AM 2:50、今FM東京を聞いて「悲しき雨音」(知っているかな?)をみんなで合唱したところです。2、3人寝ている外は、みんな元気で歌を歌っています。古橋、本多さん、牛窪さん、ムトウと一緒に歌っています。今「上を向いて歩こう」を合唱しています。

取り敢えず今、酔っているから、取り敢えずこれでおしまい。

(2年20期 K.Muto)

今時報 3:00 みんな元気です。
スコット。マッケンジー「花のサンフランシスコ」知ってるか？知らないだろう！ざまあみろ。
クリームの「ホワイト。ルーム」知ってるの？” In the white room. With black カテン. In the station Black roof country ” ムトウ、古橋、ウシクボ なつかしの「チェイス」
チェイスは数年前飛行機事故で全員死亡、現在 am4:15 「黒い炎」
Tレックス「get it on」 実になつかしい。マーク。ボランは8月頃自動車事故で死亡。晩年は麻薬でブクブクに太り、「グラムロックの王者」と云われた面影は無かった。僕が中1の頃

Deep purple・・・

オーティスレディング「ロック オブザ ベイ」
キャロル
タイガース シルビー マイ・ラブ
これラジ関

しんろー E. クラプトン

今現在 (am 5:00) 起きている者 牛窪さん、古橋、磯尾さん、中島さん、萩生田さん、重輝さん、ムトウ、以上7名、白川さん起きてきました。

悲しき鉄道員 ショッキングブルー

しあわせの朝 クリフ・リチャード

ラブ・チャイルド ミュープリムス (ダイアナロスがソロになる前、旧シュープリムス)

60年代最後の頃の大ヒット曲。しかし個人的には「some day will be together」 或いは「スラムの小鳩」が良いと思う。音楽評論家S.

「ウッドストック」のテーマ、C.S.N.Y.

これは映画を見た。一番印象的だったのは sly and family stones であった。ジミヘンも死んだ。

「Heart Break Hotel」 E. プレスリー 云うまでもなく 77. 7に死亡、42才

「You've got a friend」 J. テーラー winter, spring, summer or fall, all you have to do is call

「Tell me」 ローリングストーンズ 日本では大ヒットしたが、あちらではもう一歩だった。

2年20th 武藤 KM

s54年1月1日 元旦 正月

今日は正月だ。だから、朝から オジヤ を食った。今年俺の年。頑張ルゾ。

2年20th M.N.西田?

元旦。本日通して起きていたのは、実は な、なんと僕だけなのです。みんな2～4時間、人によっては5

～8時間 寝ているのです。なんと僕 (古橋元雄) 君だけが起きていたのです。それから通して 去年・今年と起きているのは僕だけなのです。その上、自ら食当を買って出て、自らオジヤを作ったのです。(大した事では無いが)。

By2年20th 古橋

S53年元旦

明けまして・おめでとう

ございます

今年もよろしく

おねがいします。

今日帰ります。本当はもっと居たいのだけれども、ふところと相談したら、居てはダメと云うので帰ります。充実した年にしよう！

(2年20期 K.Muto)

53.1/1 くもり am 10:15

今、37. 8℃ たすけて

3年19th Y.M. 南

1978年1月1日

今日、夜行で帰るつもりです。本当は滑って帰りたいのだけれど、まだ手紙が書き終えてないので、しこしこ書いています。

毎日のお酒、夜更かし、睡眠不足、食べ過ぎで胃が重い。新年と感じさせてくれるのはラジオだけで、まだ新年の実感がありません。今年は長い人生の中でも、割と重要な年だと思うのだけれど、どうしても緊張感みたいなものが感じられません。新年を迎えて”今年は何しよう” などという気負いも無い。かといって、ダラケテ居る積もりでもないし、いい加減な気持ちでもない。”元旦” というものが私にとって、唯の1月1日の名前でしかなくて、その意味なんて全く無い。(一度、山小屋で年越しをしてみたという願望から、今ここに居るのに、少し変な気分だ)

今年は何なんてこと思えないけれど、やっぱりこれからも一生懸命生きていきたい、と思っているのは確かです。頭がボーとしていて、おかしい日本語を綴っている気がします。失礼。また山小屋へ来たいな。

(3年19期 T.K.) 熊沢

1978.1.1

1977.12.25 にスキー講習会のコーチとして入小屋、修士論文の原稿書きを放ったらかしたまま、帰宅してから忙しくなりそう。何せ1月31日が修論締切だから。

1978.1.2

今回のスキー講習会で気付いた事を2、3点書こう。生徒・増田 スピードに乗り仲間うまい。シュテムク

リスチャニアの回転のきっかけである伸び上がり先落としての感じを早く掴み、回転後半のエッジングを伸び上がった上半身を有効的に使って沈み込みを行うと、もっと上達するだろう。ポイント：外向傾姿勢をとること。

1978.1.3

生徒…田本 右回りの回転の時、プルークの姿勢に移るとき、山側スキーの開き（シュテム）が大きく、回転後半 谷スキー偏重が為されていず、斜滑降姿勢がとれていない。ポイント：開きの小さいプルーク姿勢によるスピードに乗ったボーゲンを行うこと。

1978.1.4

生徒…田中 腰が引けてしまうくせが強く、全体に姿勢が悪い。ポイント：足首を曲げ上体を低く保つように滑る。

生徒…中村 スキーを理論的に捉えようとする心懸けは大変良い。横滑りの感覚を早く掴む事。ポイント：自分が今何を学ぼうとしているかを意識し、その為に分解して部分を捉えた練習をし、滑り込むこと。

1978.1.5

生徒…熊沢 山スキーのエッジを引っかけの傾向がある。山回りに於いては、伸び上がり沈み込み動作を大きくし、ターンが山側に切り上がる様にして終わるように練習すること。ポイント：できればショートスキーによる練習をすると良い。エッジを落としてなら現在のスキーをも使い易くなるだろう。

生徒…小泉 飲み込みが早く最も優秀な生徒であった。しかしながら本人にとっては、それが最大の欠点になるかもしれない。ひとつひとつを確かめながら滑ることを意識しないと、いずれ壁にぶつかったとき、全てのバランスが崩れる事になる。ポイント：スキー感覚を理論化して体得すると良い、即ち自分の動作の一つ一つを意味するところが何かを掴むこと。

(下記3名のコーチはワタベが担当しました 3/4 記)

私の生徒ではないが…山室 自分が納得するまで練習するという心懸けは初めてのスキーをした女性としては素晴らしいの一言に尽きる。シュテムクリスチャニア練習型は綺麗である。完成型へは、ターンきっかけを動作の大きい伸び上がりによって行うようにすると、より深い切れ味の良い回転となるだろう。スキーを止めての開いたスキーを引き寄せる練習をすると良いだろう。パラレルは近い！

私の生徒でないが…山中 シュテムクリスチャニアにはなりきっていないが、ターン後半の谷スキーの荷重をを踵から爪先に乗り換える意識を持てばクリスチャニアになると思う。回転時の叫び声はなかなか楽しい。私の生徒でないが…渡部 スピードに乗ったスキーは頼もしい限りだ。回転後半にはしっかりと谷スキーに乗り、谷向きを心掛けよう。

全般に 私がスキーをやり始めた時の事を考え比

較すると、皆うまい。春が楽しみだ。

OB16期 植松 (24才)

昭和 53 年 1 月 2 日 (月)

入小屋<2年20期 水田徹・太田信幸・下村厚志、** (18)>

今年度4月から いよいよ就職である。長い長い学生生活に 遂に終止符を打つ事になりそうだ。

OB16th 植松(24才)

昭和 53 年 1 月 3 日 (火)

入小屋<2年20期 水田>
下山<

昭和 53 年 1 月 4 日 (水)

入小屋<2年20期 白井真理子?(20)、遠田、鈴木(14)・友人3名>

下山<

8:50am 起きたばかり。

12/30 4日間のスキー講習会を終え、滑るのに飽きてきた僕たち4人(太田、下村、加賀、I)は、一路その足を金沢に向けた。その夜、風邪が皆治っていないので民宿に泊まった。

12/31 10:00 check out

レンタカーを借りて金沢を行ったり来たりしていた。外は冷雨。良かったのは江戸村、江戸時代の建築物が集まっている所で、手が加わっていたが、内部の造りには非常に興味を覚えた。

夜、輪島

近くの喫茶店で 12 時まで粘り、紅白歌合戦を全部見た。

1/1 それからブラブラと初詣、近くの神社に出かけた。僕と太田はタダでお祓いを受けた。今年はきっと良いことがあるぞー。輪島駅泊。雨いまだやまず。

1/1 朝

バスで曾々木海岸。遙かに七ツ島を眺め、千枚田を身ながらバスは走った。曾々木海岸から窓岩を通り過ぎると喫茶店で日和った。この旅は計画などもちっとも無いものなので、どこかに落ち着くと、出てくる言葉は「これからどうしようか」であった。このサテンでも悩んだあげく、二手に分かれて穴水で2日夜に会おうということになった。下村と僕はそこからヒッチハイクを始めたが、漸く15台目位にアベックを捕まえて、祿剛崎へ一気に通貫。

寒い夜だった、やはり民宿泊まり、この夜が一番落ち着いて過ごせた夜だった。一番安い素泊まり (1900

円)であったが、夜も朝も おばさんは、たらふく食べさせてくれた。夜は年賀状を漸く書き上げた。静夜、北風は海を吹き荒れていたー

1/2 朝、日和に日和って朝 11 時に民宿を出た。3 時間ほど歩いて蛸島、穴水で太田、加賀と会う。加賀は米原経由で帰り、そして僕たち 3 人は再び白銀の世界に戻って来た。能登・金沢の旅 あらすじでした。

2年 20th T.M.水田徹

目を養おう、輝く目、行動そして思索それも深く
力強く、情熱、純粹、誠実
真剣、真剣、真剣、真剣、真剣、真剣、真剣、真剣
今年のほうふ

旅

旅は人との出会いとよく言われている、自分も旅をする時、人、人情に触れることを重視して来たつもりだ。でも今は少し分からなくなってきた。その気になればいくらでも、人と触れ合う事が出来る。多くの素晴らしい人に会うことが出来る。だが、いい人なんて、どこにでも居るじゃないか、その程度の事で喜んでいるだけが、旅なのかという疑問が生じてきた。柘植義春的な旅をいつも心に浮かべて旅を続けてきた。日本の辺境の地を歩く、心優しい人達に会った。でも言葉が異なっても、そこに漂うものが、実に同じ様な気がする。さて、今度は俺はどんな旅をしたらいいんだろうか。

2年 20th 水田徹

1 / 4 午後 5 : 06 雪

2 日の夜入って今晚で 3 晩目。毎日粉雪が降っている。12 月はずっと研習でバイトをやらされて、スキー講習会には来れなかった。バイトは西友の戸塚店で歳暮コーナー、おもちゃ売り場、お節売り場とやらされたのだけれど、師走という気分には全くなれなかった。毎日残業で、9 時頃下宿に帰ると後は寝るだけという生活で、山がすごく懐かしくなった。31 日夜、自宅に帰って 1 日、元旦だけ家で過ごした後、すぐここへ来てしまった。2 日の夜 9:00 頃着くと、10 人位で静かな小屋だった。東京にいるときは無性に小屋へ行きたいと思っていたのだけれど、ここにいると、ごく気分は当たり前で、特別な感動は無い、冬小屋で過ごすことは、もう自分の生活の一部になってしまっているのかもしれない。4 月に就職する事になっているけれども、夏に山へ行けなくなったり、長い旅行をすることが無くなったり、冬、ここへ来れなくなったりするとすれば、自分の生活リズムはどうなるだろうかと思う。

** (18)

南クンが連日、熱が 38° 以上、40° 以下の間をフラフラして、一時私は、やっと南クンも知恵熱が出たかなどと思ったりしたが、39° 8' の体温計を見ては、冗談も言っていられず、遂に永高荘へ下って、暖かい所で直すようにすることにしたのです。付添人 磯尾クンです。小屋を出る時の熱は 37.8° で久々の 37° 台だと喜んでいたので、私がゲレンデで彼を見かけた時、スムーズに滑っていて、あれが高熱を出した後のスキーか！ やや華麗な姿を見せていました。頑張れ南！

OB16 期 植松 (24 才)

昭和 53 年 1 月 5 日 (木)

入小屋<

下山<OB16 期 植松>

10:00am 曇

小屋内温度 0℃、新雪が 50 cm くらい積もり、外は晴、太陽がまぶしく輝いて、今日帰りたくないほどの天気です。明日、家庭教師なので帰らなくてはならないのです。今朝 4 時頃まで、昨日入小屋した白井、遠田を交えてマージャンを小屋にいる連中全員でやったのです。

これが最後の山小屋長期滞在になるか、12 月 25 日に入小屋し、30 日は赤倉泊、再び小屋に戻り、今日まで通算 10 泊。OB としてはえらく長い滞在でした！

OB 16 期 植松 (24 才)

突然の事故で、怪我人を最優先させました。現役諸君にはまことに申し訳無い。来週 (1/15) 頃に、再び小屋に来て荷物・スキー等持ち帰ります。

OB14th 鈴木

昭和 53 年 1 月 7 日 (土)

現役の皆さんに詫びます。直江津の友人らと計 4 名で小屋に来た。ところが夜に 1 名が 2 階吹き抜けに張ったベニヤ板を、2 階の床と思って一気に踏み抜き、1 階床に叩きつけられた。5 分間ほど意識不明。肩の痛みを告げるので、ジュラルミン製スノーボードを使ってグリーンロジ迄下ろした。右肩脱臼、骨折の心配あり、等で直ちに直江津へ帰した。

①五八木荘に預けたもの スノーボード 1 枚、毛布 約 10 枚、長靴 1 枚、ハリケーンランプ 2 枚

②小屋の未整理 食器類は洗っていない。

OB14th 鈴木